

差込みランプソケット

正 誤 票

区分	位 置	誤	正
本体	7.5	10.2に規定する端子寸法に適合しない場合、導体の断面積は $X \text{ mm}^2$ 、又は X で表示しなければならない。導体が単線の場合は、…でもよい。	ランプソケットの端子が 10.2 に規定する端子寸法に適合しない場合、接続できる導体の断面積又は断面積範囲を mm^2 単位で表した値に、小さな口を付けて表示しなければならない（例えば、 $0.5 \text{ } \square$ ）。導体が単線の場合は、…でもよい。
	15.5 h) 2)	肉眼では見えない…、無視する。	肉眼では見えない…、無視する。 ランプソケットの任意の部分の外郭表面中にあるき裂又は穴は、仮にその部分がなくなってもランプソケットがこの規格に適合するならば、無視する。
	図 7 記号 H 、 許容差の欄	+0.1 0	+0.1 -0.1
	図 12 A—試験箱	内部仕上げ：2層のつや消し黒色塗装	内部仕上げ：2層のつや消し塗装

平成 20 年 9 月 15 日作成